

◆ 工学系研究科

(1) 東京大学大学院工学系研究科規則

	〔昭和40. 5. 18〕 〔制 定〕
改正	昭和41. 3. 15、昭和42. 1. 7 昭和43. 2. 20、昭和45. 4. 21 昭和46. 4. 20、昭和47. 3. 14 昭和47. 5. 23、昭和48. 2. 20 昭和48. 3. 12、昭和49. 4. 16 昭和50. 4. 30、昭和50. 6. 24 昭和51. 3. 16、昭和51. 4. 27 昭和51. 5. 13、昭和52. 2. 10 昭和53. 2. 8、昭和54. 2. 21 昭和55. 3. 10、昭和55. 5. 20 昭和57. 2. 24、昭和58. 3. 25 昭和58. 4. 19、昭和59. 3. 26 昭和60. 3. 26、昭和61. 1. 30 昭和61. 2. 18、昭和61. 11. 18 昭和62. 2. 20、昭和63. 3. 31 平成元. 3. 31、平成 2. 2. 20 平成 2. 3. 28、平成 3. 2. 19 平成 3. 3. 30、平成 4. 3. 17 平成 4. 4. 1、平成 5. 2. 16 平成 6. 5. 25、平成 7. 3. 31 平成 7. 11. 21、平成 8. 4. 1 平成 8. 9. 30、平成 9. 3. 31 平成 9. 12. 16、平成10. 4. 21 平成11. 3. 29、平成11. 10. 18 平成13. 7. 10、平成16. 6. 22 平成17. 2. 15、平成17. 4. 1 平成18. 4. 1、平成18. 10. 1 平成19. 4. 1、平成19. 10. 1 平成20. 4. 1、平成21. 4. 1 平成21. 4. 28、平成21. 10. 22 平成22. 4. 1、平成23. 4. 1 平成23. 6. 1、平成23. 10. 27 平成24. 4. 1、平成24. 6. 28 平成24. 9. 10、平成25. 4. 1 平成26. 4. 1、平成27. 4. 1 平成28. 4. 1、平成28. 6. 23 平成29. 4. 1、平成30. 4. 1 平成31. 4. 1、令和 2. 4. 1 令和 3. 4. 1

(目的)

第1条 この規則は、東京大学大学院学則（以下「学則」という。）及び東京大学大学院専門職学位課程規則（以下「専門職学位課程規則」という。）中、各研究科において定めるように規定されている事項及び東京大学大学院工学系研究科（以下「本研究科」という。）において必要と認める事項について定めることを目的とする。

2 本研究科における教育課程、試験、入学及び修了等については、この規則に定めのあるもののほか、本研究科教育会議（以下「教育会議」という。）及び各専攻会議の議を経て、こ

れを定める。

(教育研究上の目的)

第1条の2 本研究科は、豊かな教養に裏付けられた、科学技術に対する体系的な知識と工学的な思考方法を身につけ、工学とその活用に係わる研究、開発、計画、設計、生産、経営、政策提案などを、責任を持って担うことのできる人材を育成し、未踏分野の開拓や新たな技術革新に繋がる研究へと果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

2 各専攻の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別に定める。

(博士後期課程のみの博士課程)

第2条 本研究科に置く専攻のうち、先端学際工学専攻は、学則第2条第4項に定める博士後期課程のみの博士課程とする。

(専門職学位課程の標準修業年限)

第2条の2 専門職学位課程の標準修業年限は1年とする。

(コース)

第2条の3 本研究科の専攻に次の各号に定めるコースを置く。

- (1) 都市持続再生学コース(都市工学専攻修士課程)
- (2) 環境マネジメント工学コース(マテリアル工学専攻博士後期課程)
- (3) 先端科学技術イノベータコース(先端学際工学専攻博士後期課程)

2 前項のコースの実施及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(学期)

第2条の4 学年を4学期に分ける。

2 各学期の期間は、学則第41条第3項により別に定められるところによる。

(修了要件)

第3条 修士課程の修了要件は、学則第5条第1項の定めるところによる。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、特例として1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項のただし書の特例の適用に関し必要な事項は、別に定める。

第3条の2 専門職学位課程を修了するためには、1年以上在学し、所要科目を履修して、30単位以上を修得しなければならない。

第3条の3 博士後期課程の修了要件は、学則第6条第1項の定めるところによるものとし、本研究科で定めた所要科目を20単位以上修得しなければならない。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を上げた者については、特例として次の各号に掲げる年数以上在学すれば足りるものとする。

- (1) 修士課程又は専門職学位課程に2年以上在学し当該課程を修了した者 1年
- (2) 修士課程又は専門職課程に1年以上2年未満在学し当該課程を修了した者
修士課程又は専門職学位課程における在学期間を含めて3年
- (3) 学則第16条第2項第7号及び第8号の規定により入学した者 1年

2 前項のただし書の特例の適用に関し必要な事項は、別に定める。

(長期履修学生制度)

第3条の4 学則第2条第7項の定めるところにより、学生がそれぞれの課程の標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、教育会議の議を経て、その計画的な履修を認めることができる。

2 前項に定めるもののほか、長期履修学生の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

(教育課程)

第4条 各専攻の授業科目の履修及び単位については、別表の定めるところによる。ただし、教育会議及び各専攻会議の議を経て、別段の定めをすることができる。

2 授業科目の単位数は、講義については15時間、演習(輪講を含む。)については30時間、実験又は実習については45時間の授業時間をもって1単位とする。

(履修方法)

第5条 修士課程及び博士後期課程の学生は、指導教員の指示によって授業科目を履修し、必要な研究指導を受けるものとする。

2 専門職学位課程の学生は、専攻長の指示によって授業科目を履修するものとする。

第6条 修士課程においては、指導教員の許可を得て、専門職学位課程においては、専攻長の許可を得て、次の各号に掲げる科目を履修し、これを修士課程及び専門職学位課程の単位とすることができる。

- (1) 学部の科目
- (2) 他の専攻、研究科又は教育部の科目

第7条 博士後期課程においては、指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる科目を履修し、これを博士後期課程の単位とすることができる。

- (1) 修士課程及び医学部医学科の科目
 - (2) 修士課程で修得した超過単位数のうち10単位以内
- 2 前条第2号の規定は、博士後期課程にこれを準用する。

(他の大学の大学院又は研究所等における研究指導)

第8条 学則第12条に定める他の大学の大学院又は研究所等における研究指導は、指導教員の申請に基づき、教育会議の議を経て、これを許可するものとする。

2 前項に定めるもののほか、他の大学の大学院又は研究所等における研究指導に関し必要な事項は、別に定める。

(履修科目届及び受験届)

第9条 学生は、授業科目を履修しようとするとき又は履修した授業科目について単位を修得しようとするときは、指定の期間内に所定の様式により届け出なければならない。

2 専門職学位課程においては、1年間に50単位を超えて履修科目を登録することができない。

(試験)

第10条 試験は、学期末又は学年末に行う。ただし、担当教員は平常の成績又は報告をもって試験に代えることができる。

2 前項のほか、特に必要な場合は、教育会議の議を経て、追試験を行うことができる。

(学位論文)

第11条 修士課程及び博士後期課程の学生は、指導教員の指導を受けて、指定の期間内に学位論文を研究科長に提出するものとする。

(最終試験)

第12条 最終試験は、所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者について行う。ただし、専門職学位課程における最終試験については、別に定める。

2 最終試験の期日及び試験の方法については、あらかじめ発表する。

(専門職学位課程の成績評価)

第12条の2 専門職学位課程の成績評価の方法は、別に定める。

(学位の授与)

第13条 学則第5条第1項に定める修了要件を満たした者には、修士（工学）の学位を授与する。

第13条の2 第3条の2に定める修了要件を満たした者には、原子力修士（専門職）の学位を授与する。

第14条 学則第6条に定める修了要件を満たした者には、博士（工学）の学位を授与する。ただし、先端学際工学専攻及び技術経営戦略学専攻においては、博士（工学）又は博士（学術）の学位を授与する。

(所属専攻の変更)

第15条 所属専攻の変更は、特別の事情がある場合に限り、教育会議の議を経て、これを許可することができる。

2 所属専攻を変更した者の変更後の専攻の在学期間は、変更前の在学期間と通算する。

3 所属専攻を変更した者が変更前の専攻において修得した単位は、専攻会議の認定により、第4条に規定する単位に算入することができる。

(入学資格)

第16条 修士課程及び専門職学位課程に入学することのできる者は、学則第16条第1項（第8号を除く。）及び専門職学位課程規則第16条の定めるところによる。

2 博士後期課程に入学することのできる者は、学則第16条第2項各号の定めるところによる。

3 前項の場合において、学則第16条第2項第7号及び第8号の入学資格に関する規定を適用

し、その資格要件を認定する基準は、別に定める。

(再入学)

第17条 修士課程、専門職学位課程又は博士後期課程を在学年限に達しないうちに退学した者で当該課程に再入学を志願するものについては、学年の初め又は学期の初めに、教育会議の議を経て、再入学を許可することができる。

2 再入学者は、退学前の専攻に所属するものとする。

3 再入学者の在学期間は、教育会議の議を経て、これを定める。

4 再入学者が退学前の専攻において修得した単位については、第15条第3項を準用する。

(修士入学等)

第18条 本学の大学院において修士の学位又は専門職学位を得た者で更に修士課程又は専門職学位課程に入学を志願するものの選抜については、新たに入学を志願する者の例による。ただし、この場合においては、教育会議の議を経て、入学試験の一部を免除することができる。

2 前項により修士課程に入学した者については、教育会議の議を経て、在学期間を1年とすることができる。

3 第1項により入学した者が前に在学した専攻において修得した単位は、専攻会議の認定により、第4条に規定する単位に算入することができる。

(博士入学)

第19条 本学の大学院において博士の学位を得た者で更に博士後期課程に入学を志願するものの選抜については、前条の規定を準用する。

2 前項により入学した者については、教育会議の議を経て、在学期間を2年とすることができる。

3 第1項により入学した者が前に在学した専攻において修得した単位は、前条第3項を準用する。

(転入学及び転科)

第20条 学則第23条に定める転入学及び第24条に定める転科の受け入れについては、別に定める。

(副専攻制)

第20条の2 学則第9条第2項に基づき、本研究科に副専攻を履修させる制度(これを「副専攻制」という。)を置く。

2 前項の副専攻制に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院科目等履修生)

第21条 学則第31条の2に定める大学院科目等履修生の受入れについては、別に定める。

(特別研究学生)

第22条 学則第32条に定める特別研究学生の受入れは、当該学生の所属する大学の大学院又は研究科の申請に基づき、教育会議の議を経て、これを許可するものとする。

2 前項に定めるもののほか、特別研究学生の受入れに関し必要な事項は、別に定める。

(大学院研究生)

第23条 大学院研究生については、学則及び東京大学大学院研究生規則によるもののほか、その取扱いの細目については、本研究科において別に定める。

附 則

1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。

2 平成8年3月31日以前に第1種課程の修士課程又は第1種博士課程に入学し、引き続き在学する者については、平成8年4月1日から修士課程又は博士後期課程に所属するものとする。

附 則

1 この規則は、平成10年4月21日から施行し、平成10年4月1日から適用する。

2 この改正に伴う経過措置は別に定める。

附 則

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は別に定める。

附 則 (抄)

1 この規則は、平成13年7月10日から施行し、改正後の東京大学大学院学則の規定は、平成

13年4月1日から適用する。

- 8 東京大学大学院工学系研究科規則の一部を次のように改正する。

附 則

この規則は、平成16年6月22日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則 (抄)

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 9 東京大学大学院工学系研究科規則の一部を次のように改正する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (抄)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 8 東京大学大学院工学系研究科規則の一部を次のように改正する。

附 則

この規則は、平成18年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年11月12日から施行し、この規則による改正後の東京大学大学院工学系研究科規則の規定は、平成19年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成21年4月28日から施行し、この規則による改正後の東京大学大学院工学系研究科規則の規定は、平成21年4月1日から適用する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成21年10月22日から施行し、この規則による改正後の東京大学大学院工学系研究科規則の規定は、平成21年10月1日から適用する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

この規則は、平成23年6月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成23年10月27日から施行し、この規則による改正後の東京大学大学院工学系研究科規則の規定は、平成23年10月1日から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

この規則は、平成24年6月28日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

この規則は、平成28年6月23日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

別表 工学系研究科専攻授業科目表

社会基盤学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授業科目	単位数
構造動力学E	1
動力学特論E	2
コンクリートの連関機構モデリングE	2
風と構造物E	2
風力発電工学E	2
海岸水理学E	1
水文学特論E	2
水害シミュレーション学E	2
河川工学E	1
海岸工学特論E	1
水圏流砂漂砂論E	2
水圏学プロジェクトE	2
防災危機管理学	2
地理情報システムE	2
リモートセンシングE	2
写真測量とパターン認識E	2
道路交通工学特論E	2
社会基盤マネジメント特論E	2
景観学特論	2
都市災害軽減工学E	2
社会基盤のフロンティア I	2
社会基盤学インターン	2
鉄筋コンクリートの非線形力学E	2
計算地震工学E	2
社会基盤学の非線形解析法E	2
地盤工学応用特論E	2
地盤工学原論E	2
自然災害と都市防災	2
交通・都市学スタジオE	2
交通・都市解析特論E	2
途上国プロジェクト特論E	1
社会基盤のフロンティア II E	2
社会基盤イノベーションE	1
国際プロジェクトのケーススタディE	2
地震と地圏災害軽減工学E	2
シビルエンジニアの活躍する世界	2
復興デザインスタジオ	4
復興デザイン研究コロキウム	2
社会基盤技術者のための国際英語 I E	1
社会基盤技術者のための国際英語 II E	1
社会基盤技術者のための日本語E	2
社会基盤技術者のための日本語（初級II）E	1
社会基盤学実験及び演習	10
社会基盤学特別講義	2
社会基盤学特別輪講	2
社会基盤学特論 I	2
社会基盤学特論 II	2
社会基盤学特論 III	2
社会基盤学特論 IV	2
社会基盤学特論 V	1
社会基盤学特論 VI	1
社会基盤学論文輪講 I	3
社会基盤学論文輪講 II	3
社会基盤学特別研究 I	4
社会基盤学特別研究 II	4
社会基盤学特別研究 III	2

修士課程及び博士後期課程	
授業科目	単位数
国際社会空間マネジメント実習	2
社会基盤のための経済・財務学E	2
国際開発プロジェクト設計論E	1
i-Constructionシステム学特論	2
i-Constructionシステム学特別演習	2
プロジェクトファイナンスE	2
セメント系材料科学特論E	2

1 修士課程においては、社会基盤学実験及び演習は必ず履修しなければならない。
 2 博士後期課程においては、社会基盤学論文輪講 I、II 及び社会基盤学特別研究 I、II、III を必ず履修しなければならない。

建築学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単位数
木質構造学	2
歴史的建築工学	2
建築振動論	2
地震工学	2
建築災害軽減論	2
鋼構造物の終局挙動	2
曲面構造論	2
構造デザイン論と一般逆行列理論	2
Theory of Curved Surfaces	2
Design of Structures and Theory of Generalized Inverse	2
構造信頼性工学	2
塑性解析論	2
弾性解析論	2
鉄筋コンクリート構造学	2
鉄筋コンクリート耐震構造学	2
建築構造物の非線形解析	2
波動解析論	2
工学システムの災害リスクマネジメントE	2
建築材料工学	2
建築材料科学分析演習	2
建築防災計画	2
建築計画学第1	2
建築計画学第2	2
建築計画学第3	2
建築計画学第4	2
建築計画学第5	2
建築計画学第6	2
建築計画学第7	2
復興建築計画論	2
建築設計学第1	2
建築設計学第2	2
建築設計学第3	2
Architectural Concepts and Design Methodologies	2
建築学研究方法論E	2
環境調整工学特論	2
建築熱システム解析学	2
環境音響学	2
建築空気・温熱環境学	2
建築水環境・設備学	2
都市環境・設備学	2
建築環境心理・生理学	2
建築音響解析学	2
建築環境エネルギー論	2
都市熱環境特論	2
建築の機械・電気設備	2
建築史学第1	2
建築史学第2	2
建築史学第3	2
建築史学第4	2
建築史学第5	2
建築史学第6	2
建築史学第7	2
プロジェクトのマネジメント特論	2
建築情報学特論	2
日本の建築と都市第1E	2
日本の建築と都市第2E	2
建築構造幾何学	2
計算機構学	2
価値創造デザイン特別演習	2
Design Thinking	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単位数
価値創造デザイン特別講義 美しい人工物のためのWS	2
価値創造デザイン特別講義 付加製造科学	2
価値創造デザイン特別講義 メディアデザインへの誘いE	2
価値創造デザイン特別講義 イノベーションマネジメント	2
価値創造デザイン特別講義 Design × Engineering	2
価値創造デザイン特別演習 Proactive Research Commons	4
価値創造デザイン特別演習 Prototyping Skills	2
価値創造デザイン特別演習 Project Prototyping	4
建築倫理2	1
設計製図第1A	4
設計製図第1B	4
設計製図第2A	4
設計製図第2B	4
Computational Desing in Architecture	3
建築構造・材料設計演習	3
環境設備設計演習	3
インターンシップ第1	2
インターンシップ第2	2
建築学特別演習第1	2
建築学特別演習第2	2
建築学研究第1A	2
建築学研究第1B	2
建築学研究第2A	2
建築学研究第2B	2
建築学特別研究第1A	6
建築学特別研究第1B	6
復興デザインスタジオ	4
復興デザイン研究コロキウム	2
建築生産マネジメント特論	2
建築生産マネジメント実習	2
建築学輪講	2
復興デザイン実践学社会接続演習	1
建築学研究第3A	3.5
建築学研究第3B	3.5
建築学研究第4A	3.5
建築学研究第4B	3.5
建築学研究第5A	3.5
建築学研究第5B	3.5
建築学特別研究第2A	6
建築学特別研究第2B	6
国際社会空間マネジメント実習	2

1 修士課程においては、建築倫理2を必ず履修しなければならない。
 2 博士後期課程においては、建築倫理2を必ず履修しなければならない。ただし、本学修士課程在学中に当該科目の単位を取得した場合は、この限りでない。
 3 日本語の学習を目的とする科目は、修了要件の単位数に含まれない。

都市工学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
都市計画特論第1	2
都市計画特論第2	2
都市計画特論第3	2
都市設計特論第1	2
都市設計特論第2	2
都市設計特論第3	2
都市解析特論	1
都市防災特論	2
広域計画特論	2
都市交通計画特論第1	2
都市交通計画特論第2	2
都市工学特論	2
緑地計画特論E	2
都市解析特論E	2
地域政策論E	2
途上国都市計画論E	2
環境工学実験演習特論E	1
都市水システムE	2
都市水システムマネジメントE	2
都市住宅特論	1
都市居住特論	2
住環境特論E	1
環境解析特論E	2
環境水質工学特論E	1
環境管理適正技術論第一	1
環境管理適正技術論第二E	1
環境反応速度論E	1
地球及び都市環境マネジメントE	2
水質汚濁制御基礎E	1
環境リスク制御論E	1
研究プロポーザル作成技法E	2
地域計画論E	1
都市計画論E	1
都市交通政策特論E	1
都市交通計画分析特論E	1
世界の都市計画E	2
環境制御プロセス設計第一	2
環境制御プロセス設計第二	1
有害物質管理論E	1
有害物質管理論	1
環境生態毒性学	1
都市工学特別実習	1
健康関連微生物特論E	1
環境微生物生態解析	1
環境工学実験演習特論	2
環境微生物工学特論E	2
循環型社会とリサイクルシステムE	1
都市環境プロジェクトの最前線E	1
都市空間論E	2
都市水害とリスク管理E	1
地域安全システム学	1
復興デザインスタジオ	4
復興デザイン学	2
復興デザイン研究コロキウム	2
復興デザイン実践学社会接続演習	1
アジア都市環境保健学E	2
空間計画理論	2
国際社会空間マネジメント実習	2
日本語初級Ⅰ都市総合A	6
日本語初級Ⅰ都市総合B	6
日本語初級Ⅱ都市総合A	4
日本語初級Ⅱ都市総合B	4
日本語中級Ⅰ都市会話A	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
日本語中級Ⅰ都市会話B	2
都市工学特別輪講第1A	2
都市工学特別輪講第1B	2
都市工学特別輪講第2A	2
都市工学特別輪講第2B	2
都市工学特別輪講第3A	2
都市工学特別輪講第3B	2
都市工学特別輪講第4A	2
都市工学特別輪講第4B	2
都市計画特別演習第1A	4
都市計画特別演習第1B	4
都市計画特別演習第2A	4
都市計画特別演習第2B	4
環境工学特別演習第1A	4
環境工学特別演習第1B	4
環境工学特別演習第2A	4
環境工学特別演習第2B	4
都市計画特別演習第3A	4
都市計画特別演習第3B	4
都市計画特別演習第4A	4
都市計画特別演習第4B	4
環境工学特別演習第3A	4
環境工学特別演習第3B	4
環境工学特別演習第4A	4
環境工学特別演習第4B	4
都市プロジェクト演習第1	2
都市プロジェクト演習第2	2
都市プロジェクト演習第3	2
都市プロジェクト演習第4	2
環境フィールド演習第1E	1
環境フィールド演習第2E	1
環境フィールド演習第3E	1
環境フィールド演習第4E	1
都市計画研究第1A	7
都市計画研究第1B	7
都市計画研究第2A	7
都市計画研究第2B	7
都市計画研究第3A	7
都市計画研究第3B	7
環境工学研究第1A	7
環境工学研究第1B	7
環境工学研究第2A	7
環境工学研究第2B	7
環境工学研究第3A	7
環境工学研究第3B	7

1 履修方法は、別途定める。
 2 修士課程及び博士課程について、日本語以外の言語を母国語とする場合、日本語の学習を目的とする科目を2単位まで修了単位の単位数に含めることができる。

都市工学専攻都市持続再生学コース

修士課程	
授 業 科 目	単 位 数
都市空間政策概論第1	1
都市空間政策概論第2	1
都市空間政策概論第3	1
都市空間政策概論第4	1
都市空間政策概論第5	1
都市空間政策概論第6	1
都市空間政策概論第7	1
都市空間政策概論第8	1
都市空間政策特論第1	1
都市空間政策特論第2	1
都市空間政策特論第3	1
都市空間政策特論第4	1
都市空間政策特論第5	1
都市空間政策特論第6	1
都市空間政策特論第7	1
都市空間政策特論第8	1
都市空間政策特論第9	1
都市空間政策特論第10	1
応用都市空間政策論第1	1
応用都市空間政策論第2	1
応用都市空間政策論第3	1
応用都市空間政策論第4	1
都市経営基礎第1	2
都市経営基礎第2	2
都市経営基礎第3	2
都市経営基礎第4	2
都市経営基礎第5	2
都市経営戦略第1	2
都市経営戦略第2	2
都市経営戦略第3	2
まちづくり演習第1	3
まちづくり演習第2	3
まちづくり演習第3	1
まちづくり演習第4	1
まちづくり演習第5	1
まちづくり演習第6	1
都市持続再生学特別演習第1	2
都市持続再生学特別演習第2	2
都市持続再生学特別講義	1

まちづくり演習第1、第2及び都市持続再生学特別演習第1、第2は必ず履修しなければならない。

機械工学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
再生医工学	2
バイオマニピュレーション工学	2
機械工学特別講義Ⅰ	2
機械工学特別講義Ⅱ	2
機械工学特別講義Ⅲ	2
機械工学特別講義Ⅳ	2
機械工学特別講義Ⅴ	1
機械工学特別講義Ⅵ	1
機械工学特別講義Ⅶ	1
機械工学特別講義Ⅷ	1
バイオトランスファー	1
機械力学・制御演習	2
分散型エネルギーシステム -モデル化と設計-	2
分子熱流体工学	2
MEMSおよびマイクロシステム特論	2
分子軌道法・分子動力学シミュレーション	2
機械系応用数学	2
破壊強度学	2
固体力学セミナー	2
伝熱工学特論	2
流体工学特論1	2
流体工学特論2	2
熱力学特論	2
ナノテクノロジー	2
数値熱流体工学	2
能動振動制御論	2
長期インターンシップ	4
ナノ・マイクロ医療システム	1
拡張ナノ空間基礎理論	2
ナノ・マイクロエネルギーシステム	2
実践的シミュレーションソフトウェア開発演習	2
トライボロジー	2
拡張ナノ空間実践演習	2
弾性学	2
塑性学	2
非線形有限要素法の原理と応用	2
ロボットマニピュレーション	2
技術の管理	2
技術の創造	2
実際の設計	2
臨床バイオメカニクス	2
設計生産フィールドワークⅠ	4
設計生産フィールドワークⅡ	2
生体流体力学	2
機械設計学	2
美しい人工物のためのWS	2
自動車工学	2
マルチボディ・ダイナミクス	2
メカノバイオエンジニアリング	2
情報と計測	2
機械系数値解析法	2
機械力学・制御概論	2
車両工学	2
モビリティ工学概論	2
ファインマシニング	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
マテリアルズプロセッシング	2
機械工学特別演習Ⅰ	6
工学リテラシーⅡ	1
-事業戦略と知的財産-	
工学コンピテンシーⅠ	2
-プロジェクト・ベースト・ラーニング-	
工学コンピテンシーⅡ	2
-研究インターンシップ-	
工学コンピテンシーⅢ	2
-サマー・キャンプ-	
工学リテラシーⅠ	1
-イノベーションと技術マネージメント-	
工学リテラシーⅢ	1
-アドバンスト・アカデミック・プレゼンテーション-	
機械工学特別演習Ⅱ	12

修士課程及び博士後期課程においては、別途指定する科目を履修しなければならない。

精密工学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
動的エージェント論	2
協調機械システム論	2
光計測工学	2
人間環境メカトロニクス	2
医用精密工学	2
応用マイクロ流体システム	2
精密治療支援工学	2
形状データ処理工学	2
ナノ・マイクロ機械システム	2
マイクロ加工学	2
超精密加工学	2
サービス工学	2
応用ロボット工学	2
接合加工学	2
ニューロエンジニアリング	2
社会と設計方法論	2
生体信号計測・解析論	2
廃止措置特論E	2
人工物を創出するための理解 I	2
人工物を創出するための理解 II	2
サステナビリティ設計論	2
M E M S / N E M S 工 学	2
インテリジェント施工システム特論	2
価値創造デザイン特別演習	2
Design Thinking	2
英語論文・発表資料作成技法	2
認知人間工学	2
i-Constructionシステム学特論	2
フレキシブルデバイス実装工学特論	2
精密測定学	2
IoTデバイス実装工学特論	2
リハビリテーション工学	2
i-Constructionシステム学特別演習	2
価値創造デザイン特別講義	2
マテリアルデザイン論	2
価値創造デザイン特別講義	2
メディアデザインへの誘いE	2
価値創造デザイン特別講義	2
イノベーションマネジメント	2
価値創造デザイン特別講義	2
美しい人工物のためのWS	2
価値創造デザイン特別演習	4
Proactive Research Commons	4
価値創造デザイン特別演習	4
Project Prototyping	4
精密工学国際ワークショップ演習	2
精密工学特別演習M	6
精密工学特別講義 I	2
精密工学特別講義 II	2
精密工学特別講義 III	2
精密工学特別講義 IV	2
精密工学特別講義 V	2
精密工学特別講義 VI	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
精密工学先端講義 I	1
精密工学生産現場実習	1
精密工学特別セミナーM	8
精密工学特別演習D 1	6
精密工学特別演習D 2	6
精密工学特別セミナーD	8

1 修士課程においては、精密工学特別セミナーMを必ず履修しなければならない。
 2 博士後期課程においては、精密工学特別セミナーDを必ず履修しなければならない。

システム創成学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
先端材料の強度と設計	2
複雑流体システムモデリング	2
環境・エネルギー技術政策	2
データ可視化と創造的システムデザイン	2
数理社会モデリング	2
海事技術イノベーション	2
認知社会デザイン	1
先端シミュレーション工学	2
環境空間システムマネジメント	2
資源エネルギーエンジニアリング	2
資源戦略学	2
グローバル環境・探査科学	2
資源経済システム：天然資源編	1
資源経済システム：循環資源編	1
リサイクルプロセスシステム工学	2
構造設計解析工学	1
金融レジリエンス情報学	1
グローバル生産システム	1
破壊力学	1
複雑・複合現象のシミュレーション	1
複雑ネットワーク科学	2
計算複素解析論	1
構造健全性診断システム	1
国際物流論	2
確率的シミュレーション	1
海洋再生可能エネルギー利用システム解析	2
太陽系資源環境学	2
経済・社会系の統計物理学入門	1
先端物流科学特論 I	2
先端物流科学特論 II	2
物流マネジメントと経営	2
複合領域最適設計論	1
システム創成学特論	2
日本語中級Ⅱ創成系総合A	3
日本語中級Ⅱ創成系総合B	2
日本語初級Ⅰ-1創成系	6
日本語初級Ⅰ-2創成系	6
日本語初級Ⅱ創成系	8
日本語中級Ⅰ創成系読解	2
日本語中級Ⅰ創成系総合	8
日本語中級Ⅲ創成系総合	2
システム創成学特別講義 1	2
システム創成学特別講義 2	2
システム創成学特別実習 1	2
システム創成学特別実習 2	2
システム創成学特別実習 3	1
システム創成学特別演習 1 (J/E)	2
システム創成学特別演習 2 (J/E)	4
システム創成学特別演習 3 (J/E)	4
システム創成学特別演習 4A (J/E)	2
システム創成学特別演習 4B (J/E)	2
システム創成学特別演習 4C (J/E)	2
システム創成学特別演習 4D (J/E)	2
システム創成学特別演習 5 (J/E)	4
システム創成学特別演習 6 (J/E)	2
システム創成学特別輪講 1 (J/E)	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
システム創成学特別輪講 2A (J/E)	1
システム創成学特別輪講 2B (J/E)	1
システム創成学研究Ⅱ	10

1 修士課程においては、別途指定する科目を履修しなければならない。
 2 日本語中級Ⅱ創成系総合A、B、日本語初級Ⅰ-1創成系、日本語初級Ⅰ-2創成系、日本語初級Ⅱ創成系、日本語中級Ⅰ創成系読解、日本語中級Ⅰ創成系総合、日本語中級Ⅲ創成系総合は修了要件の単位数に含まれない。その他の日本語や他言語の学習を目的とした科目も原則として同様とする。

航空宇宙工学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
粘性流と乱流の力学	2
航空機空力設計論	2
非平衡気体力学	2
高温気体力学	2
ロケットの空気力学	2
実験流体力学Ⅰ	1
実験流体力学Ⅱ	1
実験流体力学Ⅲ	1
極超音速熱空気力学	2
数値流体力学Ⅰ	2
数値流体力学Ⅱ	2
複合材構造力学	2
複合材料工学	2
材料強度論B	2
構造安定論	2
構造振動論	2
飛翔体構造理論	2
宇宙構造物工学	2
材料力学特論	2
応用破壊力学	2
飛翔体材料工学	2
航空機力学特論Ⅰ	2
航空機力学特論Ⅱ	2
航空機力学特論Ⅲ	2
制御学特論Ⅰ	2
制御学特論Ⅱ	2
宇宙工学特論Ⅰ	2
宇宙工学特論Ⅱ	2
宇宙工学特論Ⅲ	2
宇宙機設計特論	2
定常内部流体力学	2
非定常内部流特論	2
空力音響学	2
ジェットエンジン特論	2
摩擦潤滑論	2
燃焼現象論	2
反応性ガス力学	2
ロケット機関特論	2
宇宙エネルギー輸送特論	2
宇宙飛翔体工学特論	2
航空機設計特論	2
航空宇宙工学演習	6
航空宇宙工学輪講	6
航空宇宙学特別講義	2
航空宇宙学特別講義Ⅰ	2
航空宇宙学特別講義Ⅱ	2
非線形波動論	2
推進機設計特論	2
現象数理モデル論	2
電気推進工学	2
航空交通管理特論	2
推進エネルギー変換工学	2
航空機設計空気力学特論	2
知的システム構成論	2
宇宙推進流体力学特論	2
宇宙利用工学特論	2
知識獲得システム論	2
航空技術・政策・産業特論	4
構造動力学特論	2
波動と破壊	2
ロケット宇宙機信頼性	2
飛翔体構造工学概論	2
航空宇宙設計最適化	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
将来航空推進システム技術特論	2
航空技術イノベーション概論	2
宇宙機熱制御工学特論	2
革新構造設計概論	2
航空宇宙工学特別研究	10

1 修士課程においては、航空宇宙工学演習及び航空宇宙工学輪講を必ず履修しなければならない。
2 博士後期課程においては、航空宇宙工学特別研究を必ず履修しなければならない。

電気系工学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単位数
システム数理工学特論	2
プラズマ・核融合工学	2
原子力発電	2
誘電体現象論	2
高電圧工学特論	2
電気機器学特論Ⅰ	2
電気機器学特論Ⅱ	2
応用電気・電子工学特論	2
交通電気工学	2
半導体プロセス工学	2
制御・システム論	2
宇宙通信工学特論	1
エネルギーシステム論	2
マイクロメカトロニクス	2
電力系統工学特論	2
スピントロニクス	1
アンテナ工学	1
電波伝搬	2
集積回路工学	2
光・量子エレクトロニクスⅠ	2
光・量子エレクトロニクスⅡ	2
固体電子物性工学Ⅰ	2
固体電子物性工学Ⅱ	2
集積デバイス工学	2
ニューラルネットワーク論	1
宇宙機航法・制御工学	2
電磁界・波動解析	2
光波解析	2
センシングフォトリクス	1
光通信工学	1
量子ナノ構造	1
半導体デバイス基礎	2
集積フォトリクス	1
衛星・探査機システム工学	2
VLSI設計支援工学	2
組み込みシステム設計論	2
宇宙探査ロボティクス	2
宇宙機制御工学	2
情報ネットワーク学	2
ネットワークアーキテクチャ	2
ヒューマンインタフェース	2
ネットワークコンピューティング	2
アルゴリズム設計	2
シミュレーション学	2
デバイス設計論	2
レーザ工学	2
半導体システム学	2
L S I 設計	2
情報システム論	2
並列数値処理論	2
プログラミング言語処理系論	1
フロンティア情報学特論	2
計算生体分子科学特論	2
情報セキュリティ基盤論	2
知的都市基盤工学	2
環境エネルギー論	2
パワーフロンティア機器工学	2
VLSIテスト	1
D2T特別講義Ⅰ	2
D2T特別講義Ⅱ	2
バイオ電子情報工学	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単位数
ナノ量子情報エレクトロニクス特論Ⅰ	2
ナノ量子情報エレクトロニクス特論Ⅱ	2
認知メディア論	2
先進プラズマ理工学基礎	2
太陽電池工学	1
先端半導体デバイス・材料工学	1
強電界応用工学	2
ドレスト光子工学	2
有機エレクトロニクス	2
ナノデバイス信頼性物理工学	1
ヒューマンコンピュータインタラクション特論	2
高効率情報通信基盤技術	2
スレッド並列コンピューティング	2
ハイブリッド分散並列コンピューティング	2
ファイバフォトリクス	2
電磁気・電波工学	2
ナノマテリアル物性論	1
低電力・高速VLSI設計論	2
半導体フォトリクス	2
光と物質の量子論	2
Fundamentals of Optics and Photonics	2
ナノ光工学	2
医用画像・医用磁性	2
集積パワーマネジメント回路	1
Machine Learning for Multimedia Processing	2
暗号とセキュリティ	2
電気電子工学特別講義Ⅰ	2
電気電子工学特別講義Ⅱ	1
電気電子工学特別講義Ⅲ	2
電気電子工学特別講義Ⅳ	1
電気電子工学修士実験	10
電気電子工学修士輪講Ⅰ	2
電気電子工学修士輪講Ⅱ	2
融合情報学特別講義Ⅰ	2
融合情報学特別講義Ⅱ	2
融合情報学特別講義Ⅲ	2
融合情報学特別講義Ⅳ	2
融合情報学特別講義Ⅴ	2
融合情報学修士輪講Ⅰ	2
融合情報学修士輪講Ⅱ	2
融合情報学特別研究Ⅰ	10
電気電子工学博士演習Ⅰ	3
電気電子工学博士演習Ⅱ	3
電気電子工学博士輪講Ⅰ	2
電気電子工学博士輪講Ⅱ	2
電気電子工学博士輪講Ⅲ	2
融合情報学博士輪講Ⅰ	2
融合情報学博士輪講Ⅱ	2
融合情報学博士輪講Ⅲ	2
融合情報学特別研究Ⅱ	6

1 電気電子工学コース修士課程においては、電気電子工学修士実験、電気電子工学修士輪講Ⅰ、Ⅱを必ず履修しなければならない。

2 融合情報学コース修士課程においては、融合情報学修士輪講Ⅰ、Ⅱ及び融合情報学特別研究Ⅰを必ず履修しなければならない。

3 電気電子工学コース博士後期課程においては、電気電子工学博士演習Ⅰ、Ⅱ及び電気電子工学博士輪講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを必ず履修しなければならない。

4 融合情報学コース博士後期課程においては、融合情報学博士輪講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及び融合情報学特別研究Ⅱを必ず履修しなければならない。

物理工学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
量子力学特論	2
量子情報物理	2
固体物理 I	2
固体物理 II	2
統計物理学	2
物理工学実験技法 (A)	2
物理工学実験技法 (B)	2
ソフトマター科学	2
量子物理学	2
物質科学	2
計算物理学	2
表面物理特論	2
磁気共鳴基礎論	2
半導体物理	2
光学特論	2
光工学特論	2
光物理学特論	2
量子ビーム特論	2
凝縮系物理学入門	2
固体物理学	2
応用非線形光学	2
スピン物性物理	2
物質科学のための計算数理 I	2
物質科学のための計算数理 II	2
多体問題の計算科学	2
計算科学における情報圧縮	2
物理工学イノベーション特論	2
物理工学特別講義 I	2
物理工学特別講義 II	2
物理工学特別講義 III	2
物理工学特別講義 IV	2
物理工学特別講義 V	2
物理工学特別講義 VI	2
物理工学特別講義 VII	2
物理工学特別講義 VIII	2
物理工学特別講義 IX	1
応用物理学輪講 I	2
応用物理学輪講 II	4
応用物理学実験及び演習 I	4
応用物理学実験及び演習 II	6
物理工学特別研究実習	2
応用物理学特別輪講	4
応用物理学特別実験及び演習 I	4
応用物理学特別実験及び演習 II	4

1 修士課程においては、応用物理学輪講 I、II 及び応用物理学実験及び演習 I、II を必ず履修しなければならない。また、量子力学特論、量子情報物理、固体物理、統計物理学、物理工学実験技法、ソフトマター科学、量子物理学、物質科学、計算物理学のうち 6 単位を履修しなければならない。

2 博士後期課程においては、応用物理学特別輪講及び応用物理学特別実験及び演習 I、II を必ず履修しなければならない。

マテリアル工学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
熱力学特論及び演習	2
輸送現象論特論及び演習	2
弾性学特論及び演習	2
構造解析特論及び演習	2
固体物理特論	2
マテリアル化学特論I	2
マテリアル化学特論II	2
バイオセンシングマテリアル特論	1
ソフトマテリアル特論	1
高分子電解質溶液特論	1
エコマテリアル特論	1
結晶界面工学特論	1
構造物性特論	1
マテリアル非破壊評価特論	1
マテリアル力学特論	1
ナノマテリアルシミュレーション特論	1
光物性・光学材料特論	1
誘電体薄膜物性特論	1
デバイスプロセス工学特論	1
プラズマ基礎工学特論	1
ナノカーボンマテリアル特論	1
ガラス材料学特論	1
レアメタル特論	1
高温循環プロセス学特論	1
マテリアル熱物性学特論	1
ナノ計測学特論	1
宇宙構造材料工学特論	1
高温材料プロセス学特論	1
電子顕微鏡材料学特論	1
マテリアルモデリング特論	1
半導体転位物性特論	1
材料界面工学特論	1
医療材料学特論	1
先端医療技術特論	1
低次元電子物性特論	1
材料電気化学特論	1
バイオデバイス材料学特論	1
生物規範高分子工学特論	1
鉄鋼製造プロセス特論	1
超臨界流体材料合成特論	1
材料量子モデリング入門	2
固体電子デバイス特論	1
構造セラミックスの微構造と力学特性	1
先端マテリアル工学特論 1 (Advanced Materials Engineering 1)	2
先端マテリアル工学特論 2 (Advanced Materials Engineering 2)	2
マテリアル工学特別講義 1	1
マテリアル工学特別講義 2	1
マテリアル工学特別講義 3	1
マテリアル工学特別講義 4	1
マテリアル工学特別講義 5	1
マテリアル工学特別講義 6	1
マテリアル工学特別講義 7	1

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
マテリアル工学特別実験第 1	8
マテリアル工学演習第 1	6
マテリアル工学特別実験第 2	10
マテリアル工学演習第 2	10

1 修士課程においては、マテリアル工学特別実験第 1 及びマテリアル工学演習第 1 を必ず履修し、熱力学特論及び演習、輸送現象論特論及び演習、弾性学特論及び演習、構造解析特論及び演習、固体物理特論、マテリアル化学特論 I、マテリアル化学特論 II のうちから 6 単位以上(ただし、マテリアル化学特論 I 及び II については修得した単位のいずれか一方を加算)を履修しなければならない。

2 博士後期課程においては、マテリアル工学特別実験第 2 及びマテリアル工学演習第 2 を必ず履修しなければならない。

応用化学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
量子化学特論第1	1
量子化学特論第2	1
有機金属化学	1
応用化学特論第1	1
応用化学特論第2	1
応用化学特論第3	1
応用化学特論第4	1
応用化学特論第5	1
応用化学特論第6	1
応用化学特論第7	1
応用分光光学特論第1	1
応用分光光学特論第2	1
応用分光光学特論第3	1
安全・環境化学	1
電気化学デバイス特論	1
光電子機能薄膜特論	1
錯体機能化学特論	1
構造・反応・合成有機化学Ⅰ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅱ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅲ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅳ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅴ	1
1分子生物物理特論第1	1
1分子生物物理特論第2	1
フロンティア化学特論	2
資源・エネルギー化学特論	2
触媒応用化学特論	1
無機有機ナノ機能材料・デバイス特論	1
電子物性化学特論	1
科学技術論	2
人工細胞リアクタ工学基礎論	1
分子物理化学特論	2
触媒工学	2
高分子化学特論第1	1
高分子化学特論第2	1
細胞工学特論第1	1
分子生物学特論	1
構造生命工学特論	1
知財戦略	1
化学・生命研究倫理	1
企業価値と知的財産	2
知的財産経営	2
応用化学特別実験第1	5
応用化学特別演習第1	2
応用化学特別実験第2	5
応用化学特別演習第2	2
応用化学特別実験第3	3
応用化学特別演習第3	3
応用化学特別実験第4	3
応用化学特別演習第4	3
応用化学特別実験第5	4
応用化学特別演習第5	4

1 修士課程においては、講義16単位以上及び演習、実験14単位以上を履修しなければならない。

2 博士後期課程においては、演習10単位以上及び特別実験10単位を履修しなければならない。

化学システム工学専攻

修士課程及び博士後期課程

授 業 科 目	単 位 数
安全・環境化学	1
反応工学特論	2
分離工学特論	2
システム安全工学特論	2
エネルギー物質化学特論	2
分子物理化学特論	2
Presentation, Discussion and Reporting	2
化学システム設計特論	4
化学技術論及び実習1	1
化学技術論及び実習2	2
化学技術論及び実習3	3
化学技術論及び実習4	4
化学技術論及び実習5	7
医療社会システム工学	2
宇宙推進燃料工学	1
触媒反応化学特論	1
化学情報学特論	1
Multiscale Biosystems Engineering	2
再生医工学	2
反応システム工学 I	2
反応システム工学 II	2
材料システム工学 I	2
材料システム工学 II	2
製薬プロセスシステム工学特論	1
プロダクトデザイン	2
プロセスシステムディベロップメント	2
サステイナビリティシステム工学	2
化学システムマネジメント	2
触媒工学	2
社会技術としての化学技術	2
流体力学の基礎から応用	2
量子化学特論第2	1
高分子化学特論第1	1
高分子化学特論第2	1
細胞工学特論第1	1
分子生物学特論	1
構造生命工学特論	1
知財戦略	1
化学・生命研究倫理	1
企業価値と知的財産	2
知的財産経営	2
化学システム工学特別講義 I	1
化学システム工学特別講義 II	1
化学システム工学特別講義 III	1
化学システム工学特別講義 IV	1
化学システム工学特別講義 V	1
化学システム工学特別講義 VI	1
化学システム工学特別実験第1	2
化学システム工学特別実験第2	2
化学システム工学特別実験第3	3
化学システム工学特別実験第4	3
化学システム工学特別実験第5	4
化学システム工学特別演習第1	2
化学システム工学特別演習第2	2
化学システム工学特別演習第3	1
化学システム工学特別演習第4	1
化学システム工学特別演習第5	2

1 修士課程においては、別途指定する科目を含め講義22単位以上、特別演習及び特別実験から8単位を履修しなければならない。

2 博士後期課程においては、講義6単位以上、特別演習及び特別実験から14単位を履修しなければならない。

化学生命工学専攻

修士課程及び博士後期課程

授 業 科 目	単 位 数
有機合成化学特論第1	1
有機合成化学特論第2	1
有機金属化学	1
高分子化学特論第1	1
高分子化学特論第2	1
生体機能材料工学	1
細胞工学特論第1	1
生体機能化学特論	1
化学生命工学特論第1	1
化学生命工学特論第2	1
化学生命工学特論第3	1
化学生命工学特論第4	1
化学生命工学特論第5	1
化学生命工学特論第6	1
分子生物学特論	1
生体分子化学特論	1
生理活性分子工学特論	1
安全・環境化学	1
生体分子機能学	1
蛋白質工学特論	1
高分子材料工学特論	1
有機機能材料学特論第1	1
有機機能材料学特論第2	1
構造生命工学特論	1
生命工学特論	1
生命化学Ⅰ	2
有機化学Ⅰ	2
構造解析法	2
基礎機能化学Ⅰ	1
基礎機能化学Ⅱ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅰ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅱ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅲ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅳ	1
構造・反応・合成有機化学Ⅴ	1
高分子・機能材料化学Ⅰ	1
高分子・機能材料化学Ⅱ	1
高分子・機能材料化学Ⅲ	1
高分子・機能材料化学Ⅳ	1
分子生物化学Ⅰ	1
分子生物化学Ⅱ	1
分子生物化学Ⅲ	1
分子生物化学Ⅳ	1
分子物理化学特論	2
触媒工学	2
知財戦略	1
化学・生命研究倫理	1
企業価値と知的財産	2
知的財産経営	2
化学生命工学特別実験第1	5
化学生命工学特別演習第1-A	5
化学生命工学特別実験第2	5
化学生命工学特別演習第2-A	5
化学生命工学特別実験第3	3
化学生命工学特別演習第3	3
化学生命工学特別実験第4	3
化学生命工学特別演習第4	3
化学生命工学特別実験第5	4
化学生命工学特別演習第5	4

1 修士課程においては、別途指定する関連科目を含め講義10単位以上及び演習、実験20単位を履修しなければならない。

2 博士後期課程においては、演習10単位以上及び特別実験10単位を履修しなければならない。

先端学際工学専攻

博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
先端研究戦略・社会システム論	2
先端物質デバイス論	2
先端情報システム論	2
先端生命論	2
先端知的財産権論	2
先端環境・エネルギー論	2
先導人材育成プログラム（Ⅰ）—プロボージャー—	2
先導人材育成プログラム（Ⅱ）—先端科学技術英語—	2
先端学際工学特別講義	1
先端研究戦略・社会システム特別演習（Ⅰ）	6
先端研究戦略・社会システム特別演習（Ⅱ）	6
先端物質デバイス特別演習	6
先端物質デバイス特別実験	6
先端情報システム特別演習	6
先端情報システム特別実験	6
先端生命特別演習	6
先端生命特別実験	6
先端知的財産権特別演習（Ⅰ）	6
先端知的財産権特別演習（Ⅱ）	6
知的財産法（特許法）	2
大学アントレプレナーシップ	2
ニーズに触発された発明とアントレプレナーシップ	2
先端物質デバイス学—基礎と応用—	2
先端情報システム学—基礎と応用—	2
先端生命学—基礎と応用—	2
人工現実感特論	2
先端社会情報学特論	2
グローバルセキュリティと宗教	2
先端アートデザイン学	2
Economics of Innovation Policy and Management	2
デザイン実践型研究特論	2
先端環境・エネルギー特別演習	6
先端環境・エネルギー特別実験	6
環境科学Ⅰ	1
環境科学Ⅱ	1
エネルギー科学Ⅰ	1
エネルギー科学Ⅱ	1
資源・エネルギー論Ⅰ	2
先端バリアフリー論	2
先端バリアフリー特別演習（Ⅰ）	6
先端バリアフリー特別演習（Ⅱ）	6
障害学特論	1
人間支援工学特論	1
当事者研究特論	1

1 環境・エネルギープログラム又はバリアフリープログラムを選択して履修する者は、別途指定する関連科目を履修しなければならない。

2 先端科学技術イノベータコースにおいては、別途指定する関連科目を履修しなければならない。

原子力国際専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
プレゼンテーション技法 1 E (Scientific Presentation 1)	2
プレゼンテーション技法 2 E (Scientific Presentation 2)	2
量子ビーム医用工学特論 E (Medical Radiation Technology)	2
先進放射線ビーム利用特論 E (Advanced Radiation Applications)	2
レーザー・ビーム分析特論 E (Laser and Beam Analysis)	2
先進モデリング特論 E (Advanced Modeling)	2
先進シミュレーション特論 E (Advanced Simulation)	2
先進放射線リスク特論 E (Radiation And Risks)	2
原子力政策特論	2
原子力マネジメント特論	2
先進原子力工学特論 1 E (Advanced Nuclear Engineering 1)	2
先進原子力工学特論 2 E (Advanced Nuclear Engineering 2)	2
システムマネジメント学 E (Management and Maintenance Engineering for Nuclear Systems E)	2
科学技術社会特論 1	2
科学技術社会特論 2	4
原子力エネルギー特論 1 E (Advanced Nuclear Energy 1)	2
原子力エネルギー特論 2 E (Advanced Nuclear Energy 2)	2
原子力物理 E (Nuclear Reactor Theory and Radiation Physics)	2
原子炉工学 E (Nuclear Thermal-hydraulics and Structural Mechanics)	2
エネルギーシステム概論 E (Overview of Energy Systems)	2
社会科学基礎 E (Social Science Essentials)	2
原子力化学 E (Chemistry in Nuclear Engineering)	2
放射線生物 E (Radiation Biology)	2
原子核基礎 E (Fundamentals in Nuclear Physics)	2
原子力安全学 E (Nuclear Safety Engineering)	2
放射線安全学 E (Radiation Safety)	2
原子力システム燃料材料学 E (Materials and Fuels in Nuclear Systems E)	2
核不拡散・核セキュリティ E (Nuclear Nonproliferation and Security)	2
原子力国際プロジェクト論 E (International Nuclear Project and Cooperation)	1
原子力プラント学 E (Nuclear Plant Engineering)	2
放射線応用工学 E (Applied Radiation Engineering)	2
放射性廃棄物工学 E (Management of Spent Fuel and Radioactive Waste)	2
放射線計測学特論 E (Advanced Radiation Measurements)	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
プラズマ・レーザー特論 E (Advanced Plasma and Laser Science)	2
量子ビーム発生工学特論 E (Quantum Beam Engineering)	2
放射線利用特論 E (Advanced Radiation Application)	2
科学技術社会特論 1 E (Social Issues on Science and Technology 1)	2
原子力政策特論 E (International Nuclear Policy)	2
エネルギーシステム特論 E (Energy Systems Analysis)	2
次世代核エネルギーシステム特論 E (Advanced Lecture on Next Generation Nuclear Energy Systems)	2
シビアアクシデント特論 E (Severe Accident (Advanced))	2
シミュレーション科学特論 E (Advanced Lecture on Simulation Science)	2
核燃料リサイクル特論 E (Advanced Lecture on Nuclear Fuel Cycle)	2
Introduction to Nuclear Engineering	2
廃止措置特論 E (Special Lecture on Decommissioning and Dismantling)	2
レーザー・光子科学特論 E (Advanced Laser and Photon Science)	2
原子力リスク特論 E (Nuclear Risk Management)	2
先進原子力特別講義第一	2
先進原子力特別講義第二	2
先進原子力特別講義第三 (Advanced Nuclear Engineering Seminar 3)	2
先進原子力特別講義第三A (Advanced Nuclear Engineering Seminar 3A)	2
先進原子力特別講義第三B (Advanced Nuclear Engineering Seminar 3B)	2
先進原子力特別講義第三C (Advanced Nuclear Engineering Seminar 3C)	2
先進原子力特別講義第四	1
先進原子力特別講義第五	1
原子力国際コロキウム 1 E	2
原子力国際コロキウム 2 E	2
原子力国際コロキウム 3 E	1
原子力国際ワークショップ E	2
原子力工学修士輪講 I E (Nuclear Engineering Master's Course Seminar 1)	1
原子力工学修士輪講 II E (Nuclear Engineering Master's Course Seminar 2)	1
原子力工学修士輪講 III E (Nuclear Engineering Master's Course Seminar 3)	1
原子力工学修士輪講 IV E (Nuclear Engineering Master's Course Seminar 4)	1
原子力工学特別実地演習第一	1
原子力工学特別実地演習第二	2
原子力工学特別実地演習第三	1
原子力工学特別実地演習第四	2
量子ビーム実習	2
原子力工学特別演習第一	2
原子力工学特別演習第二	2
原子力工学特別演習第三	4
原子力工学修士演習 I E (Nuclear Engineering Master's Course Exercise 1)	3
原子力工学修士演習 II E (Nuclear Engineering Master's Course Exercise 2)	3

原子力国際専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
原子力工学修士演習Ⅲ E	3
原子力工学博士演習Ⅰ E (Nuclear Engineering Doctor's Course Exercise 1)	1
原子力工学博士演習Ⅱ E (Nuclear Engineering Doctor's Course Exercise 2)	2
原子力工学博士演習Ⅲ E (Nuclear Engineering Doctor's Course Exercise 3)	3
原子力工学博士演習Ⅳ E (Nuclear Engineering Doctor's Course Exercise 4)	1
原子力工学博士演習Ⅴ E (Nuclear Engineering Doctor's Course Exercise 5)	2
原子力工学博士演習Ⅵ E (Nuclear Engineering Doctor's Course Exercise 6)	3
先進原子力工学特別実験第二	10
先進原子力工学演習第二	10
原子力工学博士輪講Ⅰ E (Nuclear Engineering Doctoral Course Seminar 1)	1
原子力工学博士輪講Ⅱ E (Nuclear Engineering Doctoral Course Seminar 2)	1
原子力工学博士輪講Ⅲ E (Nuclear Engineering Doctoral Course Seminar 3)	1
原子力工学博士輪講Ⅳ E (Nuclear Engineering Doctoral Course Seminar 4)	1
原子力工学博士輪講Ⅴ E (Nuclear Engineering Doctoral Course Seminar 5)	1
原子力工学博士輪講Ⅵ E (Nuclear Engineering Doctoral Course Seminar 6)	1

修士課程においては、原子力工学修士輪講Ⅰ E～Ⅳ Eのうちから1単位以上、原子力工学修士演習Ⅰ E、Ⅱ Eのうちから3単位以上を履修しなければならない。

バイオエンジニアリング専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
バイオエンジニアリング輪講第1(A) (Bioengineering Seminar 1(A))	1
バイオエンジニアリング輪講第1(B) (Bioengineering Seminar 1(B))	1
バイオエンジニアリング特別実験第1	6
バイオエンジニアリング演習第1	4
Bioengineering exercise for social implementation 1	1
バイオエンジニアリング夏季実験A	1
Basic Biology	2
バイオエンジニアリング輪講第2(A) (Bioengineering Seminar 2(A))	1.5
バイオエンジニアリング輪講第2(B) (Bioengineering Seminar 2(B))	1.5
バイオエンジニアリング特別実験第2	10
バイオエンジニアリング演習第2	7
Bioengineering Seminar 3(A)	1
Bioengineering Seminar 3(B)	1
Presentation and writing in bioengineering	1
Advanced Experiments on Bioengineering 5	6
Advanced Research on Bioengineering 5	4
バイオエンジニアリング概論第1 E (Overview of Bioengineering 1)	2
メカノバイオエンジニアリング概論1	2
Overview of Mechano Bioengineering 2	2
Basic Bioelectronics	1
Overview of Bioelectronics	1
バイオデバイス概論1	2
Overview of Biodevices 2	2
Overview of Chemical Bioengineering	2
バイオマテリアル概論1	2
Overview of Biomaterials 2	2
バイオイメージング概論1	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
Overview of Bioimaging 2	2
再生医工学特論	2
バイオデバイスの基礎技術	2
プロテインエンジニアリング	2
Advanced Biomaterials	1
Advanced Biodevices	2
バイオマニピュレーション工学	2
ブレイン・エレクトロニクス	2
バイオ電子工学特論	2
医用精密工学	2
医用放射線イメージング	2
応用マイクロ流体システム	2
Multiscale Biosystems Engineering	2
生体流体力学	2
バイオ画像工学特論	2
医工学概論	2
Biological Reaction Engineering 1	2
人体形態学	2
人体機能学	2
病理形態学	2
臨床医学概論	2
Radiation Biology	2
Presentation and writing in bioengineering	1
生体信号処理特論	2
Bioengineering exercise for social implementation 2	1
バイオエンジニアリング概論第2 E (Overview of Bioengineering 2)	2
バイオエンジニアリング夏季実験B	1
Biological Reaction Engineering 2	2
Radiation Biology	2

修士課程及び博士後期課程においては、別途指定する科目を履修しなければならない。

技術経営戦略学専攻

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
科学技術・産業政策論	2
イノベーションマネジメント	2
技術・製品開発マネジメント	2
技術ロードマッピング	2
技術開発組織論	2
財務・会計	2
俯瞰経営学	2
グローバル生産システム	1
Empirical Methods in Applied Economics	2
物流マネジメントと経営	2
Global Logistics	2
企業戦略論	2
イノベーションと知的財産	2
企業価値と知的財産	2
知的財産経営	2
資源経済システム(天然資源編)	1
資源経済システム(循環資源編)	1
サステナブル・サービスデザイン	2
Web工学とビジネスモデル	2
Risk Management	2
Innovation and Entrepreneurship	2
International Intellectual Property Management	2
Econometric Analysis	2
Economic Development of Japan	2
Advanced Technology Management	2
Resilience Informatics for Innovation	2
Global Business Strategy and Policy	2
Quantitative Methods for Management and Policy Analysis	4
先端エネルギー技術経営と政策	2
Risk and regulatory policy	2
Science, Technology and Public Policy	2
科学技術イノベーション政策研究	2
スポーツ経営とイノベーション	2
フィンテックによる金融イノベーション	2
知識社会マネジメント	2
深層学習	2
データ駆動型起業演習	2
データ駆動型事業立案演習	2
金融レジリエンス情報学	1
人工物を創出するための理解Ⅰ	2
人工物を創出するための理解Ⅱ	2
インターンシップ	1
プロジェクト演習Ⅰ	1
プロジェクト演習Ⅱ	1
プロジェクト演習Ⅲ	2
プロジェクト演習Ⅳ	2
プロジェクト演習Ⅴ	2
技術経営戦略学研究Ⅰ	8
技術経営戦略学特別研究Ⅰ	1
技術経営戦略学特別研究Ⅱ	1
技術経営戦略学特別研究Ⅲ	2
技術経営戦略学研究Ⅱ	10

博士後期課程においては、技術経営戦略学研究Ⅱを必ず履修しなければならない。

原子力専攻

専門職学位課程	
授 業 科 目	単 位 数
放射線安全学	1.5
原子核と放射線計測	1.5
原子力法規	1.5
原子炉物理学	2
原子力熱流動工学	2
原子力燃料材料学	2
原子力構造工学	1.5
核燃料サイクル工学	1.5
原子力安全工学	2
原子力プラント工学	1.5
原子力保全工学	1.5
廃棄物管理工学	1.5
リスク認知とコミュニケーション	1.5
ヒューマンファクター	1
福島学	1.5
原子力特別講義	0.5
原子炉設計	1.5
放射線遮蔽	1
放射線利用	1
原子力危機管理学	1.5
原子力法規演習	1
技術倫理演習	1
放射線安全学/放射線計測演習	1
原子炉物理演習	1
伝熱流動/原子力プラント工学演習	1
材料力学/原子力構造力学演習	1
原子力燃料材料/核燃料サイクル工学演習	1
原子力安全工学/安全解析演習	1
炉心設計演習	1
原子力保全工学演習	1
放射線遮蔽演習	0.5
廃棄物工学演習	0.5
リスクコミュニケーション/メディア対応演習	1
福島学演習	1
原子力実験・実習1	2
原子力実験・実習2	2
原子炉実習・原子炉管理実習	1
インターンシップ実習	1

原子力基礎科目10.5単位〔放射線安全学、原子核と放射線計測、原子力法規、原子炉物理学、原子力熱流動工学、原子力燃料材料学〕、原子力実務隣接科目1.5単位〔リスク認知とコミュニケーション〕、演習科目2単位〔原子力法規演習、技術倫理演習〕、実験・実習科目5単位〔原子力実験・実習1、原子力実験・実習2、原子炉実習・原子炉管理実習〕を必ず履修しなければならない。

共 通

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
数値解析 E	2
技術移転論 E	2
日本語入門	3
日本語インテンシブ初級 I	10
日本語初級1	6
日本語初級2	4
日本語インテンシブ初級 II	8
日本語初級3	4
日本語初級4	4
日本語中級1 総合	4
日本語中級1 聴解	2
日本語中級1 会話	2
日本語中級1 専門読解	2
日本語中級1 文章	2
日本語中級2 総合	2
日本語中級2 聴解	2
日本語中級2 会話	2
日本語中級2 読解	2
日本語中級2 文章	2
日本語中級2 専門語彙・漢字	2
日本語中級3 総合	2
日本語中級3 聴解	2
日本語中級3 会話	2
日本語中級3 専門読解	2
日本語中級3 文章	2
日本語上級 日本組織事情	2
日本語上級1 総合	2
日本語上級1 聴解	2
日本語上級1 会話	2
日本語上級1 読解	2
日本語上級1 文章	2
日本語上級2 総合	2
日本語上級2 聴解	2
日本語上級2 会話	2
日本語上級2 読解	2
日本語上級2 文章	2
夏季日本語特別集中科目1	1
夏季日本語特別集中科目2	1
夏季日本語特別集中科目3	1
夏季日本語特別集中科目4	1
夏季日本語特別集中科目5	1
夏季日本語特別集中科目6	1
冬季日本語特別集中科目1	1
冬季日本語特別集中科目2	1
冬季日本語特別集中科目3	1
冬季日本語特別集中科目4	1
冬季日本語特別集中科目5	1
冬季日本語特別集中科目6	1
アカデミック・ライティング	1
アカデミック・プレゼンテーション	1
Advanced Academic Writing	1
Advanced Academic Presentation	1
先端技術特別講義 I	2
先端技術特別講義 II	2
創造性工学プロジェクト I	2
創造性工学プロジェクト II	2
アントレプレナーシップ I	1
アントレプレナーシップ II	1
医工学概論	2
エネルギーと社会	2
社会デザインと実践演習	2
スパコンプログラミング(I)	2
日韓遠隔交換講義 I	2
日韓遠隔交換講義 II	2
日韓遠隔交換講義 III	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
日韓遠隔交換講義 IV	2
日韓遠隔交換講義 V	2
日韓遠隔交換講義 VI	2
日韓遠隔交換講義 VII	2
日韓遠隔交換講義 VIII	2
日韓遠隔交換講義 IX	2
日韓遠隔交換講義 X	2
日韓遠隔交換講義 X I	2
日韓遠隔交換講義 X II	2
日韓遠隔交換講義 X III	2
日韓遠隔交換講義 X IV	2
日韓遠隔交換講義 X V	1
日韓遠隔交換講義 X VI	1
日韓遠隔交換講義 X VII	1
日韓遠隔交換講義 X VIII	1
先端光科学講義 I	2
先端光科学講義 II	2
先端光科学実験実習 I	1
先端光科学実験実習 II	1
海洋問題演習 II	4
海洋工学基礎	2
巨大水災害軽減学演習	2
レジリエンス工学特論 E (Advanced Lecture on Resilience Engineering)	2
レジリエンス工学特別演習 (J/E) (Resilience Engineering Project)	2
システム安全学 E (Systems Safety)	2
レジリエントシステムのためのセンシング E (Sensing for Resilient Systems)	1
工学システムの災害リスクマネジメント E (Disaster risk management of engineering systems)	2
多文化理解プロジェクト	2
工学リテラシー I	1
-イノベーションと技術マネージメント- 工学リテラシー II	1
-事業戦略と知的財産- 工学リテラシー III	1
-アドバンスト・アカデミック・プレゼンテーション- 統合物質科学俯瞰講義 I	2
統合物質科学俯瞰講義 II	2
統合物質科学講義 I	2
統合物質科学講義 II	1
統合物質科学講義 III	1
高齢社会総合研究学概論 I	1
高齢社会総合研究学概論 II	2
高齢社会総合研究学特論 I	2
高齢社会総合研究学特論 II	2
高齢社会総合研究学特論 III	2
高齢社会総合研究学特論 IV	2
高齢社会総合研究学特論 V	2
高齢社会総合研究学特論 VI	2
高齢社会総合研究学特論 VII	2
高齢社会総合研究学特論 VIII	2
高齢社会総合研究学特論 IX	2
高齢社会総合研究学特論 X	2
高齢社会総合研究学特論 X I	2
高齢社会総合研究学特論 X II	2
高齢社会総合研究学特論 X X I	1
高齢社会総合研究学特論 X X II	1
高齢社会総合研究学特論 X X III	1
高齢社会総合研究学特論 X X IV	1
高齢社会総合研究学特論 X X V	1
高齢社会総合研究学特論 X X VI	1

共 通

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
高齢社会総合研究学特論XXVII	0.5
高齢社会総合研究学特論XXVIII	0.5
高齢社会総合研究学実習 I	2
高齢社会総合研究学実習 II	2
高齢社会総合研究学実習 III	2
高齢社会総合研究学実習 IV	2
高齢社会総合研究学実習 V	2
高齢社会総合研究学実習 VI	2
高齢社会総合研究学実習 VII	2
高齢社会総合研究学実習 VIII	2
高齢社会総合研究学演習 I	1
高齢社会総合研究学演習 II	1
高齢社会総合研究学演習 III	1
高齢社会総合研究学演習 IV	1
高齢社会総合研究学演習 V	1
高齢社会総合研究学演習 VI	1
高齢社会総合研究学演習 VII	1
高齢社会総合研究学演習 VIII	1
高齢社会総合研究学演習 IX	1
高齢社会総合研究学演習 X	1
国際連携特別講義 I	2
国際連携特別講義 II	2
国際連携特別講義 III	2
国際連携特別講義 IV	2
国際連携特別講義 V	2
国際連携特別講義 VI	2
国際連携特別講義 VII	2
国際連携特別講義 VIII	2
国際連携特別講義 IX	2
国際連携特別講義 X	2
国際連携特別講義 X I	1
国際連携特別講義 X II	1
国際連携特別講義 X III	1
国際連携特別講義 X IV	1
国際連携特別講義 X V	1
国際連携特別講義 X VI	1
国際連携特別講義 X VII	1
国際連携特別演習 I	2
国際連携特別演習 II	2
国際連携特別演習 III	2
国際連携特別演習 IV	2
国際連携特別演習 V	2
国際連携特別演習 VI	2
国際連携特別演習 VII	2
国際連携特別演習 VIII	2
国際連携特別演習 IX	2
国際連携特別演習 X	2
科学技術論	1
工学コンピテンシー I -プロジェクト・ベースト・ラーニング-	2
工学コンピテンシー II -研究インターンシップ-	2
工学コンピテンシー III -サマー・キャンプ-	2
復興デザインスタジオ	4
復興デザイン研究コロキウム	2
未来社会協創学特論 I	2
未来社会協創学特論 II E	2
千年持続学原論	2
千年持続学特論	2

修士課程及び博士後期課程	
授 業 科 目	単 位 数
価値創造デザイン特別講義 付加製造科学	2
価値創造デザイン特別講義 Design×Engineering	2
価値創造デザイン特別演習 Prototyping Skills	2
生命科学技術国際卓越講義	2
生命科学技術俯瞰講義	2
生命科学技術社会実装論	2
生命科学技術実験実習	2
生命科学技術実践演習	2
生命科学技術セミナー	1
生命科学技術特別演習	2
エグゼクティブ・プログラム 2 2	2
エグゼクティブ・プログラム 2 3	2